

教育家庭新聞 2016年8月15日付

サッカー五輪代表に 卒業生が選出される

第一学院高等学校

通信制高校には、スポーツや芸能活動などの夢の実現と学業との両立を目指したいと入学する生徒もおり、プロ選手として活躍している卒業生も多い。



7月14日には中島選手へ(写真)、7月16日には岩波選手へ、生徒から手渡された。

(本校・茨城県高萩市・兵庫県養父市)もその一つ。サッカー日本代表の香川真司選手を輩出した他、リオデジャネイロオリンピックのサッカー日本代表に、卒業生2名が選出された。

五輪代表選手は、中島翔哉選手(FC東京)と岩波拓也選手(ヴィッセル神戸)で、代表選手をサポートするバックアップは、全国52キャンパスより集まった生徒たちの写真約800枚を組み合わせて絵にしたもので、見事なアート。

7月14日には中島選手へ(写真)、7月16日には岩波選手へ、生徒から手渡された。

近隣キャンパスの生徒を中心にフォトモザイクアートを制作し、本人に直接渡した。

フォトモザイクアートは、全国52キャンパスより集まった生徒たちの写真約800枚を組み合わせて絵にしたもので、見事なアート。

7月14日には中島選手へ(写真)、7月16日には岩波選手へ、生徒から手渡された。